

あんぜんだより

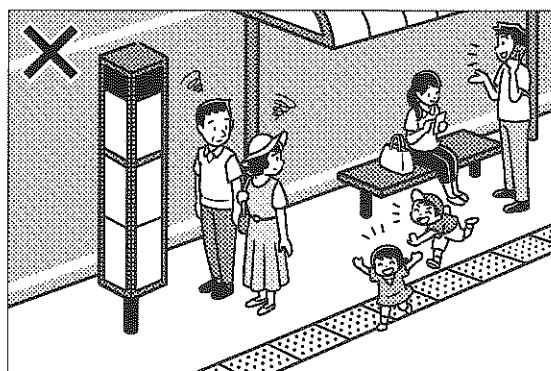
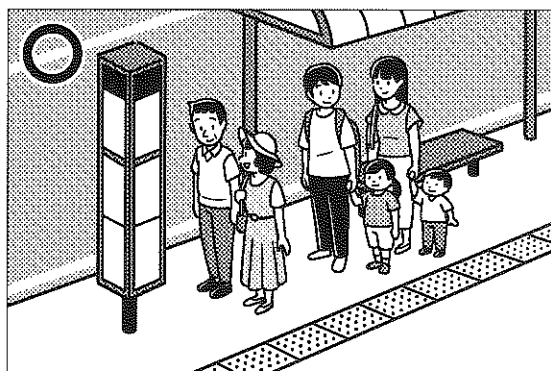
監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石晃子先生



みんなが安全で気持ちよく利用できる バスの乗り方を身につけましょう

バスや鉄道など、さまざまな人が乗り合わせる公共交通機関では、ルールやマナーを守って利用しないと、自身が危険だけでなく、周囲にも迷惑をかけてしまうことを、子どもたちに伝えるとともに、保護者の皆さんが、良い手本となる姿を見せていきましょう。

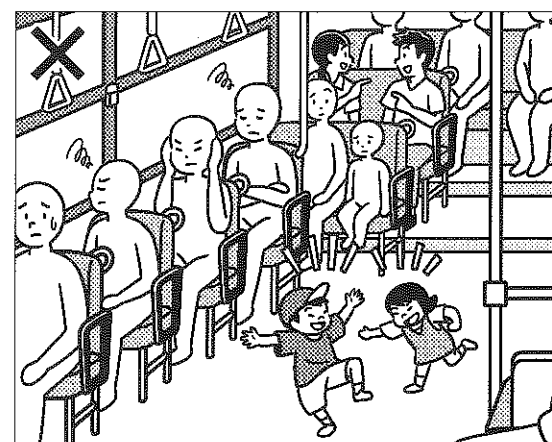
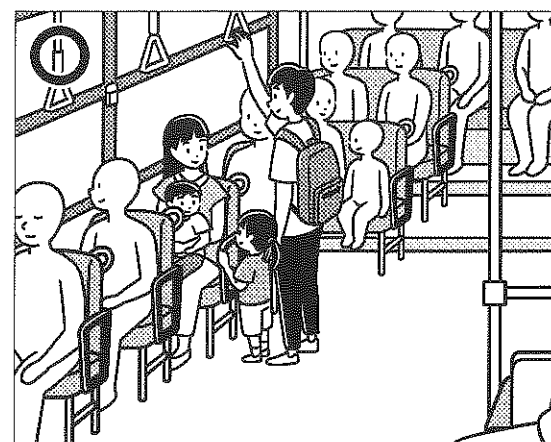
バスにのるときはやくそく



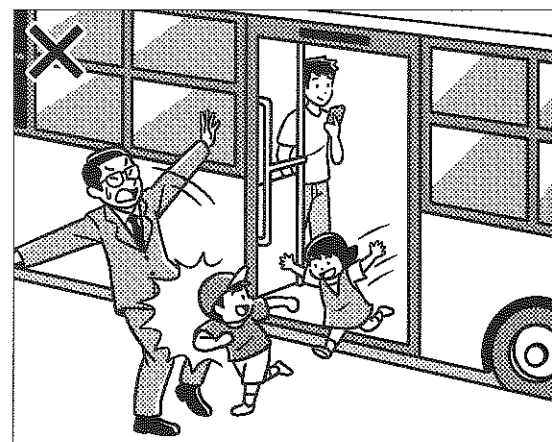
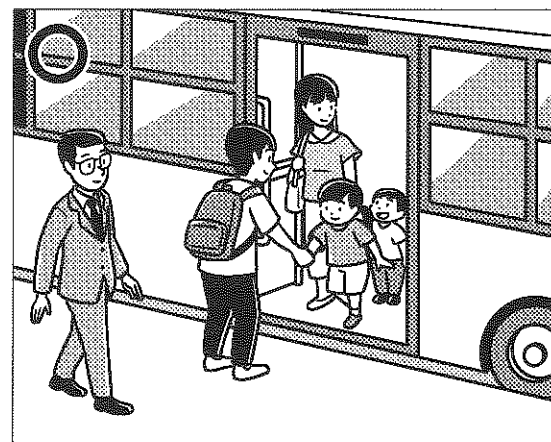
バスをまつときはしずかにれつにならぶ。



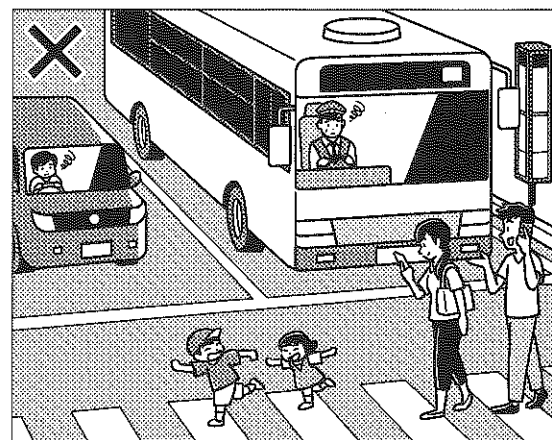
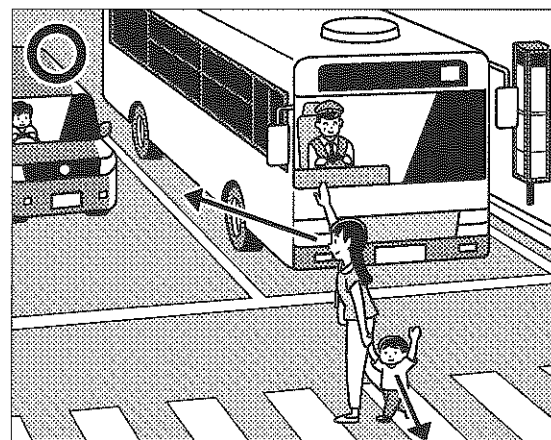
あしもとにきをつけながらじゅんばんにのりこむ。



あいたせきにすわるかてすりをしっかりつかんでたつ。



あしもととみぎひだりにきをつけてゆっくりおりる。



バスのそばをあるくときはまわりにちゅういする。

保護者の方へ バス停で待つ時には、保護者が車道側に立って順番を守り、静かに列に並びましょう。乗車する際にも、順番通りに前の人に続き、足元の段差に気をつけて進みます。乗車したら、空いている席に座るか、手すり等をしっかりとつかんで立ちます。幼児連れは優先席の対象に含まれますが、ほかにも優先席を必要としている乗客がいたら、互いに譲り合って座るようにしてください。降車する際は、飛び出さず、左右と足元の安全を確かめてからにします。バスの付近を歩く時には、死角となる車体の影にも気を配るようにしてください。

10月号では「公園で遊ぶ時の約束」について取り上げます。